

平成 29 年 1 月 13 日

各 位

日本ジェネリック製薬協会

### ジェネリック医薬品シェア分析結果の数値修正について

日本ジェネリック製薬協会が公表しております「ジェネリック医薬品シェア分析結果」について、以下のとおり改めさせていただきますとともに、お詫びを申し上げます。

#### 1. 修正箇所

【平成 28 年度】	第 1Q	第 2Q	第 3Q	第 4Q	通年
既公表の数値	60.1				
修正後の数値	63.7				

【平成 27 年度】	第 1Q	第 2Q	第 3Q	第 4Q	通年
既公表の数値	54.4	54.7	56.1	59.0	55.7
修正後の数値	57.1	58.8	59.9	62.3	59.5

【平成 26 年度】	第 1Q	第 2Q	第 3Q	第 4Q	通年
既公表の数値	49.8	51.3	53.2	54.2	52.0
修正後の数値	53.1	54.3	55.7	56.8	54.8

【平成 25 年度】	第 1Q	第 2Q	第 3Q	第 4Q	通年
既公表の数値	43.1	43.1	44.9	49.5	45.1
修正後の数値	46.8	47.3	48.8	52.3	48.8

Q は四半期 単位は%

## 2. 理由等

(1) GE 薬協による数量シェア分析にあたっては、薬価基準収載単位により計算することを基本としています。しかし、一部の製剤(※)の数量について、薬価基準収載単位による算出数量と大きな乖離があることが判りました。

(※) 粒状カプセル製剤；薬価基準単位は「包」、計算は包中の「粒」の数。

(2) 当協会の数量シェア分析に際しては、データ会社の協力を得てデータの提供を受けています。当該社の数量データは、その目的に沿い、国内外共通の単位により作成されています。上記(1)の例を踏まえ、薬価基準単位との整合を図るため精査確認を行いました。

その結果、前述製剤の他にも、所要の整合化(※)を行い、「1. 修正箇所」に記載の数値を算出しました。

(※) 例えば、外用軟膏剤について、チューブ数による計算を、薬価基準単位のグラム数に変更など。

### 【照会先】

○日本ジェネリック製薬協会  
電話 03 3279 1890